

科目名	経営学入門			ナンバリング	GEN222	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	金世煥	担当教員					

授業の概要	本講義は、企業経営に関する基礎知識を学ぶ科目であり、現代企業における経営の特徴や制度、組織、戦略など、経営に関する幅広い基礎知識を習得することによって、今後の学修への動機付けを得ることを目的とする。また、企業への就職活動も意識しながら、自分からの起業への手がかりを探せる気付きも得られることを目的とする。本講義では、具体的な経営事例を中心とする解説により、経営学の基礎知識と概念を身に付けることを目的とする。						
到達目標	1.経営学における企業経営の全体像を理解する。 2.経営学の基礎知識と概念を身に付ける。 3.企業経営の立案から実行に至るまでのプロセスを経営事例を中心に説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	各授業のテーマに関わる関連資料やキーワードなどをインターネットや新聞などの媒体を活用し事前に調べておいて、各授業の内容を正確に理解できるようにする。また、グループディスカッションや質問などを通じて、各授業に積極的に参加し、学習成果を高めるようにする。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
	○	4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①経営学における基礎概念が説明できる。 ②経営学における企業組織の特徴、経営戦略、それに関連する事業内容などが説明できる。	左記①と②を前提として、基礎知識を応用し、ある事例に例え、自分の考えが説明できる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		30%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%
出席			○	○			加点はしないが、減点となることがある。
レポートの口頭発表	○	○	○		○		60%

課題、評価のフィードバック	講義の最後に、講義内容に関する振り返り小テストを実施し(manab@を使用)、次授業の冒頭で解説する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	講義全体の流れの説明。「経営学とは何か」について解説する。	
	第2回	経営学における経営の概念	経営学における「経営」の概念について解説する。	
	第3回	企業の経営理念	企業における「経営理念」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第4回	営利企業と非営利企業	「営利企業と非営利企業」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第5回	企業の経営環境	「企業の経営環境」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第6回	企業の組織管理	「企業の組織管理」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第7回	企業のモノ作り	「企業のモノ作り」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第8回	前半のまとめ	前半7回の授業について、重要内容の確認を行い、質疑応答を行う。	
	第9回	企業と消費者	「企業と消費者」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第10回	企業の経営情報化	「企業の経営情報化」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第11回	企業の経営革新	「企業の経営革新」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第12回	企業のグローバル経営戦略	「企業のグローバル経営戦略」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第13回	企業のM&A戦略	「企業のM&A戦略」に関連して、具体的な事例を挙げながら概説する。	
	第14回	後半のまとめ	後半7回の授業について、重要内容の確認を行い、質疑応答を行う。	
	第15回	レポートの口頭発表	関心ある企業の「経営戦略」を調べ、発表を行う。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		参加型授業を目標に、講義中に質疑応答をしながら進めていく。		
授業外学習の指示		講義の内容を復習する。不明な点がある場合は教員に質問すること。  (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	教科書は使用しない。随時、資料を配付する。
参考書	「日本経済新聞」、「日経MJ(流通新聞)」など。
参考URLなど	特になし
その他	知識定着のため、他の経営学関連科目もあわせて履修することが望ましい。 講義後半に実施する小テストはmanab@のレポート機能を使用する。